

マニラ日本人学校から

広 富 隆 史

(平成21年度派遣：土師小学校)

1, はじめに

マニラ日本人学校に赴任し、1年が過ぎました。学校では、明るく素直な子どもたち、日本各地から派遣されている先生方、とても親切な現地スタッフに囲まれて、毎日貴重な経験をさせていただいています。

少しずつですが、マニラの様子やマニラ日本人学校の様子をお伝えします。

2, フィリピンの首都「メトロマニラ」

7000以上もの島で構成されているフィリピンは、人口約8800万人。東洋と西洋の文化が融合されて、他の東南アジアに比べユニークな文化、生活様式を持つ国として知られています。その中で、首都、メトロマニラ（マニラ首都圏）は、ルソン島の中にあります。



学校から市街地のビル群を望む

メトロマニラには、900万人以上が暮らしており、中心地では高層ビルが林立しています。街中の道路では、ジプニーという小型バスや、トライシクルというオートバイにサイドカーを付

けた三輪車などが走り、フィリピンならではの光景をつくっています。近年、人口集中が著しく、自動車も増え続けており、しばしば交通渋滞も起こります。

気候は、雨季と乾季がありますが、基本的に1年中高温多湿です。日本のとの時差は、マイナス1時間です。フィリピンの公用語は、「タガログ語」と「英語」です。現地の方は英語が話せるので、日常生活では英語で十分会話することができます。

3, マニラ日本人学校について

マニラ日本人学校は、周囲にインターナショナルスクールや現地校などが建つ、文教地区の中にあります。

本校の校訓は、「やさしく」、「かしこく」、「たくましく」です。自ら学び、優しく、賢く、逞しく、国際性豊かな子どもを育成することを目標としています。



マニラ日本人学校

小学部と中学部があり、337名の児童生徒が在籍しています（平成22年7月現在）。日本と同様の学習はもちろん、本校の特徴的な学習とし

て、週に2時間の英会話の学習、週に1時間の水泳の学習を1年を通じて取り組んでいます。その他、現地校との交流を定期的に行ったり、日本語の習得が十分でない児童に日本語指導教室を設けるなどを行っています。

4, 1年間の主な行事

全校で行う行事や、小学部と中学部それぞれで行う行事があります。それぞれの活動を、子どもたちは、生き生きと取り組んでいます。



○1年生を迎える会 (4月)

各学年が、1年生に出し物を披露します。



○全校遠足 (5月)

学年毎に、動物園見学、野外炊飯などをします。



○現地校との交流会 (7月など)

日本とフィリピンの文化を紹介し合います。



○校内水泳大会 (7月)

練習してきた成果を試します。



○M J S フェスティバル (10月)

劇、合唱、合奏などを全校が発表します。



○M J S 大運動会 (1月)

全校が紅白に分かれてたたかいます。

5, おわりに

平成21年度は、小学部1年生を担当しました。そして平成22年度は、5年生の担任として毎日元気にがんばっています。

本校の子どもたちは、日本各地から来ています。また、生まれてずっとフィリピンで生活している子どももいます。転入や転出が多いのも、日本人学校の特徴の一つだと思います。先日、5年生児童と保護者での親子会があり、「先生クイズ」のコーナーで、鳥取の砂丘と梨を問題にしたところ、たくさんの児童が正解してくれてうれしかったです。

今だからできること、ここでしかできないことをたくさん経験し、新しいことをたくさん吸収して、鳥取に帰ってきます。